



# GLOBAL DIALOGUE on Seafood Traceability

## 相互運用可能な水産物トレーサビリティ システムのための標準とガイドライン 中核的規範標準(バージョン 1.0)

---

*February 2020*

この文書は、GDST が 3 月 16 日に公表する GDST 1.0 を構成する文書の一つ「Core Normative Standards」の一部を和訳したものです。

## Document Summary

<b>Document Name</b>	<i>GDST Standards &amp; Guidelines for Interoperable Seafood Traceability Systems – Core Normative Standards</i>
<b>Document Date</b>	February 10, 2020
<b>Document Version</b>	1.0
<b>Document Status</b>	Released to GDST members (publication to follow on March 16, 2020)
<b>Document Description</b>	Core Normative Standards (for compliance purposes) of the GDST Standards and Guidelines

This document is part of a packet of interconnected documents and resources that together constitute the full set the GDST 1.0 materials. The packet as of February 10, 2020, includes:

Document Title	Document Date	Version	Contents
<i>Guide to the GDST 1.0 Materials</i>	February 2020	v1.0	Overview of GDST 1.0 packet contents + “How to use these documents”
<i>Executive Summary</i>	February 2020	v1.0	Two-page description of GDST 1.0
<i>Core Normative Standards</i>	February 2020	v1.0	The GDST 1.0 standards themselves
<i>Basic Universal List of KDEs (spreadsheet)</i>	February 2020	v1.0	e-spreadsheet of Appendices to <i>Core Normative Standards</i> – part of GDST 1.0 core standards
<i>Explanatory Materials</i>	February 2020	v1.0	Non-technical background and introductory materials
<i>Technical Implementation Guidance</i>	February 2020	v1.0	Additional technical materials to facilitate implementation

A drafting history of the industry-led inputs into GDST 1.0 appears in Section 1.3 of the *Explanatory Materials* document.

For online access to the full GDST 1.0 packet, visit <http://traceability-dialogue.org/core-documents/gdst-1-0-materials/>.

For additional information, please contact the GDST Secretariat at [info@traceability-dialogue.org](mailto:info@traceability-dialogue.org).

## 目次

Document Summary.....	2
目次.....	3
Abbreviations and Acronyms.....	4
GDST1.0 中核的規範標準.....	5
1. GDST 遵守要件のサマリー.....	5
2. KDEs および CTEs の基本汎用リスト.....	6
2.1. 天然漁獲水産物に関する KDEs および CTEs.....	7
表 W1a - BUL-KDEs(天然)と重要追跡イベント(CTEs)との関係.....	7
表 W1b - イベント識別に関する EPCIS 技術データ.....	8
表 W2a - 船データ(マスターレベル).....	9
表 W2b - 漁獲データ(イベントレベル).....	11
表 W2d - 陸揚げデータ(イベントレベル).....	12
表 W2e - 加工データ(イベントレベル).....	12
表 W2f - 認証およびライセンス(イベントレベル).....	13
表 W2g - トレーサブルオブジェクト情報(イベントレベル).....	14
表 W2h - 追加技術データ(イベントレベル).....	16
2.2. 養殖に関する KDEs および CTEs.....	17
表 Aq1a - 養殖 KDEs と重要追跡イベント(CTEs)との関係.....	18
表 Aq1b - イベント識別のための EPCIS 技術データ.....	19
表 Aq2a - 位置データ(マスターレベル).....	19
表 Aq2b - 餌データ(イベントレベル).....	21
表 Aq2c - 孵化場データ(イベントレベル).....	21
表 Aq2d - 養殖場データ(イベントレベル).....	22
表 Aq2e - 加工者データ(イベントレベル).....	22
表 Aq2f - 認証およびライセンス(イベントレベル).....	23
表 Aq2g - トレーサブルオブジェクト情報(イベントレベル).....	24
表 Aq2h - 技術データ(イベントレベル).....	25
2.3. 重要追跡イベントおよび GSI「ビジネスステップ」.....	26
表 C1:GDST CTEs および付随するビジネスステップ.....	27
3. オブジェクトおよび位置の識別要件.....	29
3.1. 船や養殖場において.....	29
3.2. 加工業者または消費者向け包装品(CPG)製造業者.....	32
付録.....	35
天然漁獲製品に関する KDEs の全基本汎用リスト.....	36
養殖製品に関する KDEs の全基本汎用リスト.....	43

Abbreviations and Acronyms<sup>1</sup>

AIDC	Automated Identification and Data Capture
ALE	Application Level Events
API	Application Programming Interface
B2B	Business-to-Business
BUL	Basic Universal List
CBV	Core Business Vocabulary (GS1)
CPG	Consumer Packaged Goods
CSR	Corporate Social Responsibility
CTE	Critical Tracking Event
EAN	European Article Number
EDI	Electronic Data Interchange
EPCIS	Electronic Product Code Information Services
ERP	Enterprise Resource Planning software
GDST	Global Dialogue on Seafood Traceability
GTIN	Global Trade Item Number
GTS	Global Traceability Standard
GTS2	Global Traceability Standard 2.0
GUID	Globally Unique Identifier
ILMD	Instance or Lot Master Data
IoT	Internet of Things
ISO	International Organization for Standardization
IUU	Illegal, Unreported, and Unregulated
KDE	Key Data Element
LGTIN	Lot Global Trade Item Number
MES/MRP	Manufacturing Execution Software/ Manufacturing Resource Planning
MSC	Marine Stewardship Council
NFI	National Fisheries Institute
PGLN	Global Location Number
RFID	Radio Frequency ID
SIMP	Seafood Import Monitoring Program
UPC	Universal Product Code
UUID	Universally Unique Identifier
WG1, WG2	Working Groups 1 or 2

---

<sup>1</sup> This list covers abbreviations and acronyms used in the full packet of GDST materials. Not all appear in every document within that packet

## GDST1.0 中核的規範標準

本資料では、「相互運用可能な水産物トレーサビリティシステムの GDST 標準&ガイドライン」の中核的規範基準(バージョン 1.0)を紹介する。GDST 標準の順守とは、狭義には、本資料の(「奨励」と記される特定の要素を除く)規範標準の順守を意味する。この規範標準は、拘束性・規範性が比較的低い(= GDST 標準の順守が義務付けられていない)「GDST 技術実装ガイダンス」資料の追加技術ガイドラインおよびイラストにより補完される。

「GDST 説明資料」のセクション 2.3 で説明する理由により、中核的規範標準は、大方、イベントベースのトレーサビリティに関する GS1 EPCIS 規格を詳述したものと解釈される。本資料では、このコア GDST 標準を主に、主要データ要素 (KDEs)、KDEs と特定の重要追跡イベント(CTEs)との関係、多様なトレーサビリティシステム間の相互運用性を確保するため GDST 対応 EPCIS データファイルを構築するに当たって標準化する必要のある公式特性(定義、標準データ・フォーマット・オプション、GS1 コア・ビジネス・ボキャブラリとのリンク等)を含む表の形式で示す。

### 1. GDST 遵守要件のサマリー

相互運用可能な水産物トレーサビリティシステムに関する GDST 標準により規定される**基本的要件が 2 つ**ある:

- (i) **全ての GDST KDEs の捕捉** — ある企業について、GDST 標準を完全遵守するため、当該企業の管理下において発生する全ての関連 CTEs において、KDEs の GDST 基本汎用リストの全 KDEs を捕捉することが求められる。サプライチェーンが GDST に完全対応するためには、当該サプライチェーン内の全関連 CTEs において全ての KDEs を捕捉することが求められる。
- (ii) **GDST EPCIS フォーマットによるデータのデジタル転送** — GDST 規格では、全ての GDST 対応企業が、サプライチェーン・パートナー間で、KDEs および関連トレーサビリティ・データ(全ての関連マスターデータ、イベントデータを含む)を本資料の GDST 技術規格に基づく EPCIS 対応デジタルファイルで送受信する意志および能力を持つことが義務づけられている。

注:これらの要件の実際的範囲に関する議論は、「説明資料」のセクション 4.1(デジタル化要件は外部業務に限定される)およびセクション 4.3(サプライチェーン情報の機密性)を参照のこと。

GDST 1.0 はこれらの要件の実装に柔軟なアプローチを採用することを可能にするが(「説明資料」のセクション 3 を参照)、GDST 対応サプライチェーンは、水産製品の法的起源に関する保証を求めるサプライチェーン参加者が**基本汎用リストの全 KDEs に迅速にデジタルアクセス**出来るようにすべきであり、また出来るように組織されるべきである。

本資料ではこれ以降、規範 GDST 技術標準を 2 つの次元から詳述していく:

**セクション 2 および付録**では、EPCIS フォーマットでの文書化に必要なフォーマットを提示し、GS1 EPCIS の用語と関連付けながら、GDST KDEs および、それと CTEs との関係を詳細に説明する。

**セクション 3**では、GDST KDE 情報を特定のトレーサビリティ・オブジェクトに関連付けるために必要な「オブジェクトおよび位置の識別子」に関する規格を紹介する。

## 2. KDEs および CTEs の基本汎用リスト

本セクションおよび付録 1&2 の表に、主要データ要素 (KDEs) の GDST 基本汎用リスト、またそれと各 KDE が捕捉される重要追跡イベントとの関連性を示す。これらの KDEs は、GDST マンデートを裏打つるビジネスケース、特に水産製品の法的起源の確立に取り組むに当たって必須であると GDST 作業部会により特定されている。

GDST 基本汎用リストの KDEs は EPCIS において既に定義されている KDEs に沿っているため、GDST KDEs が既存の GS1 システムとよく調和している。場合によっては、GST KDEs は GS1「コア・ビジネス・ボキャブラリ (CBV)」において定義される既存 GS1 属性と大きく重複する。<sup>2</sup> 必要に応じて、水産物サプライチェーン・プロセスのニーズに対応する目的で EPCIS 規格を拡大した。

注: 追加の KDEs を追加したい企業やその他ステークホルダーは、特に水産製品の法的起源の保証を強化するために必要であるなら、自由に追加できる。イベントベースのトレーサビリティに関する EPCIS フォーマットはそのような KDEs の追加に容易に対応出来る。このように、GDST 1.0 の KDEs 基本汎用リストは、継続的改善やベストプラクティスを目指す企業にとっての限度ではなく、最低条件とみなすべきである。

本資料では、以降、GDST KDE/CTE の組み合わせに基づく GDST 対応 EPCIS データファイルの作成に必要なフォーマットやその他標準を 4 つの表に示す。

- (i) 表 W1a、表 Aq1a に GDST BUL KDEs を関連 CTEs に関連付ける簡単なマトリックス、すなわち KDEs を捕捉する必要があるサプライチェーン・イベントの図を示す。IT やトレーサビリティシステムに詳しくない読者にとって、この 2 つの表は GDST 1.0 要件の非常にわかりやすい非専門的な概略となる。

表 W1b、表 Aq1b にも同様、EPCIS イベントの必須要素を説明するのに必要な EPCIS「技術データ」の簡単なマトリックスを示す。既に述べたように、これらの 2 つの表は技術的目的で提示しており、KDEs の GDST 基本汎用リストの一部とは見なされない。

- (ii) 表 W2a-h、表 Aq2a-h には、KDEs にビジネス的状況での意味を与えるため KDEs の唯名的定義を示し、EPCIS ファイルを作成するための適切なデータフォーマットを示す (GDST KDEs と GS1 コア・ビジネス・ボキャブラリ間のクロスリファレンスを含む)。
- (iii) 表 C には、EPCIS「ビジネスステップ」識別子を用いて GDST CTEs を EPCIS フォーマットでコード化にするための追加技術ボキャブラリを示す。
- (iv) 付録 1、付録 2 には、天然漁獲製品および養殖製品に関する GDST KDEs の全基本汎用リストを示す。これらの表には、規格データのオプションコードリストや信頼できるデータソースの識別を含む、GDST 1.0 KDE 標準の重要要素を示す。

---

<sup>2</sup> GS1 CBV に関する詳細: <https://www.gs1.org/standards/epcis>

## 2.1.天然漁獲水産物に関する KDEs および CTEs

表 W1 には、天然漁獲製品に関する KDEs の略表を示す。ここで、KDEs はデータのタイプ別に分けられ、各 KDE の捕捉が求められる重要追跡イベント(CTEs)と関連付けられている。もしある KDE とある CTE の組み合わせが「X」を有さなければ、当該 KDE を当該 CTE において捕捉する意味はない、または捕捉する必要はないことを意味する。

表 W1a - BUL-KDEs(天然)と重要追跡イベント(CTEs)との関係

Basic Universal List of Key Data Elements (Wild-capture Products)	CTEs						
	Catch	On Vessel Processing	Transshipment	Landing	Aggregation/ Disaggregation	Ship/Receive	Processing
<b>VESSEL DATA (master level data)</b>							
Vessel Name	X	X					
Vessel Registration	X	X					
Unique Vessel Identification	X	X					
Public Vessel Registry Hyperlink	X	X					
Vessel Flag	X	X					
Availability of Catch Coordinates	X						
Satellite Vessel Tracking Authority	X						
Transshipment Vessel Name			X				
Transshipment Vessel Unique Vessel ID			X				
Transshipment Vessel Registration			X				
Transshipment Vessel Flag			X				
<b>CATCH DATA</b>							
Catch Area	X						
Fishery Improvement Project	X						
Vessel Trip Dates	X						
Date(s) of Capture	X						
Gear Type	X						
Production Method	X						
<b>TRANSSHIPMENT DATA</b>							
Transshipment Location			X				
Dates of Transshipment			X				
<b>(LANDING DATA</b>							
Landing Location				X			
Dates of Landing				X			
<b>PROCESSING DATA</b>							
Expiry / Production date		X					X
Product Origin		X					X

表 W1a 次ページに続く →



Basic Universal List of Key Data Elements (Wild-capture Products)	CTEs						
	Catch	On Vessel Processing	Transshipment	Landing	Aggregation/ Disaggregation	Ship/Receive	Processing
<b>CERTIFICATIONS AND LICENSES</b>							
Fishing Authorization	X						
Harvest Certification	X						
Harvest Certification Chain of Custody		X	X		X	X	X
Transshipment Authorization			X				
Landing Authorization				X			
Existence of Human Welfare Policy	X	X	X	X			X
Human Welfare Policy Standards	X	X	X	X			
<b>TRACEABLE OBJECT INFORMATION</b>							
Species	X	X	X	X	X	X	X
Product Form	X	X	X	X	X	X	X
Item / SKU / UPC / GTIN	X	X	X	X	X	X	X
Linking KDE (batch, lot or serial number)	X	X	X	X	X	X	X
Weight or Quantity	X	X	X	X	X	X	X
Unit of Measure	X	X	X	X	X	X	X

表 W1b - イベント識別に関する EPCIS 技術データ<sup>3</sup>

<b>TECHNICAL DATA</b>							
Event ID	X	X	X	X	X	X	X
Event Date, Time & Time Zone	X	X	X	X	X	X	X
Event Read Point (Geo Location)	X	X	X	X	X	X	X
Product Ownership	X	X	X	X	X	X	X
Information Provider	X	X	X	X	X	X	X

技術メモ:

- (i) これらの表の最上段の CTEs は、典型的なサプライチェーンにおけるイベントとほぼ同じ順序に並んでいるが、サプライチェーンによって異なる場合があることを付け加えておく。
- (ii) トレーサビリティ規制要件は、特定の CTEs に紐付けされた追加 KDEs または EPCIS イベント情報を必要とするか、その恩恵を受けられる可能性がある。たとえば、SIMP は収獲後に製品を最初に受け取る当事者の特定を求めている—これは KDEs の GDST 基本汎用リストに含まれない情報(さかのぼって再現することは可能だが)である。このような場合(特定の用途に必要な

<sup>3</sup> 表 W1b には、EPCIS イベントの記録に必要な EPCIS データファイルの構成要素である追加データ種が含まれる。これらは GDST 基本汎用リストにより義務づけられる KDEs に加えて GDST により求められるが、サプライチェーン全体でのデータ共有目的では BUL の一部とは見なされない。





なるかもしれない GDST KDE/CTEs に対するその他の拡張と同様)、GDST 規格を強化して必要な追加データを含めることが出来る。このアプローチを用いて、GDST を洗練化して認証制度との相互作用を容易にすることも出来る。GDST GitHub には SIMP 遵守を促進するための推奨拡張が既に含まれている。将来的には、ユーザーは GitHub の発券システムを用いて、追加 KDE/CTE 拡張を要請および議論できるかもしれない。詳細は、付録 2「技術実装ガイダンス」を参照のこと。同ガイダンスにはイベント属性「product first entering commerce」をカバーするために推奨される「disposition extension」が含まれる。

KDEs にビジネス的状況での意味を与えるため、以下の表 W2a-W2h に KDEs の唯名的定義を示す。さらに、適切なデータフォーマットを支援するため、GDST KDEs と GS1 コア・ビジネス・ボキャブラリ属性の間のクロスリファレンスを提示する。<sup>4</sup>これらの構成要素は付録の基本汎用リストにも含まれるが、ここでは単純化したフォーマットで提示する。注:これらの表には基本汎用リストに掲載される KDEs の全構成要素は含まれていない。「信頼できるデータソース」を含むその他の重要な構成要素については、付録の表を参照されたい。

表 W2a - 船データ(マスターレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Vessel Name	Text	Verbal moniker of a fishing vessel for identifying it visually and on vessel registries.	vesselName	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>
Vessel Registration	Text	Standardized number or identifier for distinguishing vessels registered under the same flag nation.	vesselID	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>
Unique Vessel Identification	Number	Identifier associated with a vessel for the duration of its existence that cannot be re-used by any other vessel with a permanent physical marking on the craft.	imoNumber	GDST Extension  <a href="#">International Maritime Organization</a>
Public Vessel Registry Hyperlink	URL	Website address where the public registry containing the listing of the fishing vessel.	vesselPublicRegistry	GDST Extension

表 W2a 次ページに続く→

<sup>4</sup> <https://www.gs1.org/standards/epcis>



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Vessel Flag	Code	Nation with supervision over safety, fishing operations, and catch reporting.	vesselFlagState	<a href="#">ISO 3166</a>
Availability of Catch Coordinates	Text	Indicator whether GPS coordinates were collected and are available	gpsAvailability	GDST Extension
Vessel Satellite Tracking Authority	Text	Indicator of Satellite Vessel Tracking. Authority responsible for the satellite tracking or verification.	satelliteTracking	GDST Extension
Transshipment Vessel Name	Text	Verbal moniker of a transshipment vessel for identifying it visually and on vessel registries.	vesselName	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>
Transshipment Vessel Unique Vessel Identification	Number	Identifier associated with a vessel for the duration of its existence that cannot be re-used by any other vessel with a permanent physical marking on the craft.	imoNumber	GDST Extension  <a href="#">International Maritime Organization</a>
Transshipment Vessel Flag	Code	Nation with supervision over safety, transshipment operations, and catch transfer reporting.	vesselFlagState	<a href="#">ISO 3166</a>
Transshipment Vessel Registration	Text	Standardized number or identifier for distinguishing vessels registered under the same flag nation.	vesselID	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>



表 W2b - 漁獲データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Catch Area	Code	Location(s) where capture of seafood occurred. <sup>5</sup>	catchArea (repeating)	<a href="#">FAO Catch Area</a>
			economicZone (repeating)	<a href="#">EEZ</a>
			rfmoArea	GDST Extension <a href="#">FAO Fisheries</a>
			subnationalPermit Area	GDST Extension
Fishery Improvement Project	Text	Publicly-listed name of fishery improvement project which the harvest event is subject to.	fisheryImprovementProject	GDST Extension <a href="#">Fishery Progress</a>
Vessel Trip Dates	Date	Calendar start and end dates of a fishing vessel's voyage between the last point the fishing hold was empty and seafood is discharged.	harvestStartDate + harvestEndDate	YYYY-MM-DD <a href="#">CBV Info</a>
Date(s) of Capture	Date	Calendar date(s) when seafood was extracted for capture, irrespective of the fishing vessel's voyage at sea.	harvestStartDate + harvestEndDate	YYYY-MM-DD <a href="#">CBV Info</a>
Gear Type	Code	Equipment used to extract seafood from water for capture.	fishingGearTypeCode	<a href="#">CBV Info</a> <a href="#">Alternative Link</a>
Production Method	Code	Categorization, on the spectrum of wild-capture to captive-culture, of the general seafood harvest method.	productionMethodForFishAndSeafoodCode	<a href="#">GDD Code List</a>

表 W2c - 洋上転載データ(イベントレベル)

<sup>5</sup> 該当する場合は CBV 属性を掲載。少なくとも漁獲水域が必要。



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Transshipment Location	Location	Geographic rendezvous where seafood is discharged from a fishing vessel to a transshipment vessel.	In-Port: unloadingPort	<a href="#">CBV Info</a>
			At-Sea:Geo Coordinates	<a href="#">CBV Info</a>
Dates of Transshipment	Date	Calendar start and end dates of a rendezvous to discharge seafood from a fishing vessel to transshipment vessel.	transshipStartDate + transshipEndDate	YYYY-MM-DD GDST Extension

表 W2d - 陸揚げデータ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Landing Location	Location	Where seafood was first discharged to land.	In-port: unloadingPort	<a href="#">CBV Info</a>
			Non-port:Geo Coordinates	<a href="#">CBV Info</a>
Dates of Landing	Date	Calendar start and end dates when seafood is discharged to a landing location.	landingStartDate + landingEndDate	YYYY-MM-DD GDST Extension

表 W2e - 加工データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Expiry / Production date	Date	Calendar date associated with a particular instance of a product seafood indicating the key date in its life cycle.	itemExpirationDate	YYYY-MM-DD <a href="#">CBV Info</a>
Product Origin	Code	Country where seafood underwent the last substantial transformation.	countryOfOrigin (repeating)	<a href="#">CBV Info</a>



表 W2f - 認証およびライセンス(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Fishing Authorization	Mixed	Unique number associated with a regulatory document, from the relevant authority, granting permission for wild-capture of seafood by a fisher or fishing vessel.	cbvmda:certificationList <sup>6</sup> certification	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>
Harvest Certification	Mixed	Name of harvest standards body which a particular harvest seafood is subject to and the unique identifier associated with the certified entity.	certificationStandard certificationAgency	
Harvest Certification Chain of Custody	Mixed	Name of chain of custody standards body which particular harvest seafood is subject to and the unique identifier associated with the certified entity.	certificationValue certificationIdentification	
Transshipment Authorization	Mixed	Unique number associated with a regulatory document, from the relevant authority, granting permission for discharge of wild-capture of seafood from a fishing vessel to a transshipment vessel.	gdst:certificationType  /certification	
Landing Authorization	Mixed	Unique number associated with a regulatory document, from the relevant authority, granting permission for discharge of wild-capture of seafood to land by a fisher, fishing vessel or transshipment vessel.	/cbvmda:certificationList  Or <a href="#">bizTransactionList</a>	

表W2f 次ページに続く →

<sup>6</sup> 様々な認証・ライセンス識別スキームに対応するため、上記の属性を組み合わせて、発行団体および関連認証識別子を最低限指定する。「Agency and Identification」のみあるかもしれないし、加えて、認証団体または監査主体 (certificateAgency) もあるかもしれない。



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Human Welfare Policy Standards	Text	Name of internationally recognized standards to which policy on a vessel/trip claims conformity		
Existence of Human Welfare Policy	Text	Indicator of human welfare policies in place on a vessel/trip, answering the question "What kind of human welfare, labor, or anti-slavery policy was in place on this vessel/trip?" If internal policy subject to 3rd party audit, select '3P Audit'.	humanWelfarePolicy	GDST Extension

表 W2g - トレーサブルオブジェクト情報 (イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Species	Code	Scientific (latin) name of the seafood.	speciesForFisheryStatisticsPurposesCode	<a href="#">FAO Species Code</a>
Product Form	Code	Commercial short-hand reference of the degree of transformation of seafood from its original living form.	tradeItemConditionCode	<a href="#">GS1 Code List</a>
Item / SKU / UPC / GTIN	ID	Identifier of seafood material to distinguish it within a particular facility, company, or globally.	Catch, Ship, Receive, Landing (Object): epcList quantityList EPCClass, Qty, UOM  Process (Transform): inputEpcList, inputQuantityList	<a href="#">EPCs</a> <a href="#">表W2g 次ページに続く →</a> <a href="#">Dimension</a>



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Linking KDE (batch, lot or serial number)	Lot or Serial #	Identifier associated with physical product marking a particular instance of seafood material such as a batch/lot number, serial number, or container number.	outputEpcList outputQuantityList  Pack/Unpack (Aggregation): parentID epcList or quantityList  ID Options:  GS1 LGTIN GS1 SGTIN GS1 SSCC URL UUID geofencePolygon <sup>7</sup>	
Weight or Quantity <sup>8</sup>	Number	Numerically quantifiable amount of seafood with a standard Unit of Measure.		
Unit of Measure	Code	Standard for measurement of the product	<a href="#">GS1 Example</a>	

<sup>7</sup> 最大ジオフェンス次元は最大 1 度または 60 マイル。

<sup>8</sup> 定義を参照。個々の水産物単位 (たとえば、魚の数) ではなく、標準測定単位の量。



表 W2h - 追加技術データ(イベントレベル)<sup>9</sup>

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Event ID	UUID	An identifier for this event as specified by the capturing application, globally unique across all events. The Core Business Vocabulary standard [CBV1.2] specifies the use of a UUID URI for this purpose.	eventID	<a href="#">UUID for Event IDs</a>
Event Date, Time & Time Zone	Date Time Zone	The date and time at which the EPCIS Capturing Applications asserts the event occurred. The time zone offset in effect at the time and place the event occurred, expressed as an offset from UTC.	eventTime eventTimeZoneOffset	<a href="#">ISO-8601 Timestamp</a>
Event Read Point (Geo Location)	Location	The geographic or business location at which the event took place.	readPoint “geo:{lat},{lon}” or GLN	<a href="#">Location CBV Info</a>
Product Ownership	Party	The party who owns the object.  For chain of custody during ownership transfer, capture source and destination owning parties.	productOwner  Ship/Receive Events: sourceList, destinationList owning_party  IDs: pglN, urn or url	GDST Extension  <a href="#">Source, Destination Documentation</a>

表W2h 次ページに続く →

<sup>9</sup> 表 W2h には、EPCIS イベントの記録に必要な EPCIS データファイルの構成要素である追加データ種が含まれる。これらは GDST 基本汎用リストにより義務づけられる KDEs に加えて GDST により求められるが、サプライチェーン全体でのデータ共有目的では BUL の一部とは見なされない。





Information Provider	Party	The original party who provided the event information. This is important as the event may be re-shared downstream.	informationProvider	<a href="#">Data Dictionary</a>
----------------------	-------	--	---------------------	---------------------------------

## 2.2. 養殖に関する KDEs および CTEs

このセクションでは、前セクションで扱った天然漁獲製品と同様のやり方で、養殖生産された水産物にとって必須であると GDST 作業部会 1 が特定した主要データ要素 (KDEs) の GDST「基本汎用リスト」を紹介する。ここでも表はすべて、本資料に付随する Excel ファイルの付録に含まれる、GDST1.0 規範標準の不可欠要素である KDEs 基本汎用リストに由来する。

養殖プロセスにおいて、ライフサイクル・ステージは EPCIS における変換イベントとして表される。したがって、養殖における餌のトレーサビリティを確保するため、これらは別個の CTEs ではなく、変換インプットに対するサマリー・インプットである。内部記録の目的では餌ロット後の給餌時間が必要かもしれないが、トレーサビリティの目的では、同じ変換 CTE におけるインプットとしてバッチ/ロット毎に給餌を要約するだけで十分である。

次ページに始まる表 Aq1 に、養殖製品の KDEs および各 KDE を捕捉する必要がある重要追跡イベント (CTE) を示す。「X」がなければ、当該 KDE を当該 CTE において捕捉する意味はない、または捕捉する必要はないことを意味する。



表 Aq1a - 養殖 KDEs と重要追跡イベント(CTEs)との関係

Basic Universal List of Key Data Elements (Aquaculture Products)	CTE					
	Feedmill (Transform)	Hatchery (Hatch)	Farm (Harvest)	Processor (Process/Pack)	Aggregation/Disaggregation	Ship/Receive
<b>LOCATION MASTER DATA</b>						
Organization	X	X	X	X	X	X
Location name <sup>10</sup>	X	X	X	X	X	X
Location ID	X	X	X	X	X	X
Location Address or Geo-Coordinates	X	X	X	X	X	X
Location Country	X	X	X	X	X	X
<b>FEED DATA</b>						
Source of protein	X					
<b>HATCHERY DATA</b>						
Harvest date per tank		X				
Source of broodstock		X				
<b>FARM DATA</b>						
Farming method			X			
Date of Harvest			X			
<b>PROCESSOR DATA</b>						
Product Form				X		
Production date				X		
Product Origin				X		
<b>CERTIFICATIONS AND LICENSES</b>						
License <sup>11</sup>				X	X	
Certification	X	X	X	X		
Certification Chain of Custody	X	X	X	X		
Existence of Human Welfare Policy	X	X	X	X		
Human Welfare Policy Standards	X	X	X	X		
<b>TRACEABLE OBJECT INFORMATION</b>						
Species		X	X	X		
Item / SKU / UPC / GTIN	X	X	X	X	X	X
Linking KDE (batch, lot, serial number)	X	X	X	X	X	X
Weight / Quantity	X	X	X	X	X	X
Units of Measure	X	X	X	X	X	X

<sup>10</sup> 位置名には BUL KDEs A06、A15、A21 が含まれる。

<sup>11</sup> ライセンスには、BUL KDE A22(収集業者や加工業者を対象とする場合がある)が含まれる。



表 Aq1b - イベント識別のための EPCIS 技術データ<sup>12</sup>

Basic Universal List of Key Data Elements (Aquaculture Products)	CTEs					
	Feedmill (Transform)	Hatchery (Hatch)	Farm (Harvest)	Processor (Process/Pack)	Aggregation/Disaggregation	Ship/Receive
<b>TECHNICAL</b>						
Event ID	X	X	X	X	X	X
Event Date, Time & Time Zone	X	X	X	X	X	X
Event Read Point (Geo Location)	X	X	X	X	X	X
Product Ownership	X	X	X	X	X	X
Information Provider	X	X	X	X	X	X

KDEs にビジネス的状況での意味を与えるため、以下の表 A2a-A2h に KDEs の唯名的定義を示す。さらに、適切なデータフォーマットを支援するため、GDST KDEs と GS1 コア・ビジネス・ボキャブラリの間のクロスリファレンスを提示する。<sup>13</sup>これらの構成要素は付録の基本汎用リストにも含まれるが、ここでは単純化したフォーマットで提示する。注:これらの表には基本汎用リストに掲載される KDEs の全重要構成要素は含まれていない。「信頼できるデータソース」を含むその他の重要な構成要素については、付録の表を参照されたい。

表 Aq2a - 位置データ(マスターレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Organization	ID and Text	Legal entity that owns mill, hatchery, farm or processor	Party Name and ID GS1 PGLN, URL or UUID	
Location Name	Text	Name of physical location of interest	Location Name	

表 Aq2a 次ページに続く →

Location ID	ID	ID of physical location	Location ID	
-------------	----	-------------------------	-------------	--

<sup>12</sup> 表 Aq1b には、EPCIS イベントの記録に必要な EPCIS データファイルの構成要素である追加データ種が含まれる。これらは GDST 基本汎用リストにより義務づけられる KDEs に加えて GDST により求められるが、サプライチェーン全体でのデータ共有目的では BUL の一部とは見なされない。

<sup>13</sup> <https://www.gs1.org/standards/epcis>



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
		of interest	GS1 GLN, URL or UUID	
Location Address or Geo-Coordinates	Mixed	Address or Geo Coordinates of location	streetAddressOne streetAddressTwo city, state, postalCode latitude, longitude	
Location Country	Code	Country code for location	countryCode	

次ページから始まる表 Aq2b は、養殖場における餌の使用に関連する KDEs に言及する。GDST マンデートの範囲には魚に由来しない餌源の素材のトレーサビリティは含まれない。しかし、水産製品の合法性を確保するという GDST の主要マンデートを果たすため、他の水産製品と起源を同じくする餌は食用に収穫される天然漁獲水産物と全く同じように扱うべきであり、セクション [2.1](#) で詳述するトレーサビリティ要件に従うべきである。表 Aq2b の KDEs は餌タイプの基本情報であり、養殖サプライチェーンに入る餌タイプを決定し、天然漁獲物に関する GDST 規格を免れない餌の流れを特定するのに必要となる。



表 Aq2b - 餌データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Source of Protein <sup>14</sup>	Text	<ul style="list-style-type: none"><li>- Wild caught fish (straight)</li><li>- Wild caught fish byproduct</li><li>- Insects</li><li>- Soy</li><li>- Other</li></ul>	proteinSource	GDST Extension

表 Aq2c - 孵化場データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Harvest date per tank	Date	Date on which fingerlings were transferred to the grow out farm/pond	harvestStartDate + harvestEndDate	<a href="#">CBV Information</a>
Source of broodstock	Text	Broodstock from grow-out farms or taken from the wild. “Domestic” or “Wild Sources”	broodstockSource	GDST Extension

<sup>14</sup> タンパク質源が天然漁獲物に由来する場合、餌のトレーサビリティは天然漁獲規範要件に従い、養殖トレーサビリティシステム情報に入力される必要がある。



表 Aq2d - 養殖場データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Farming Method	Code	A combination of type of culture, unit, level of intensity, culture species and scale or size of exploitation as defined by the FAO. “Extensive”, “Semi-Intensive”, “Intensive”	aquacultureMethod	GDST Extension <a href="http://www.fao.org/docrep/t8598e/t8598e05.htm">http://www.fao.org/docrep/t8598e/t8598e05.htm</a>
Date of Harvest	Date	Calendar date on which the seafood was harvested from the farm/cultivation area	harvestStartDate + harvestEndDate	<a href="#">CBV Information</a>

表 Aq2e - 加工者データ(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Product Form	Code	Commercial short-hand reference of the degree of transformation of seafood from its original living form.	tradeItemCondition Code	<a href="#">GS1 Code List</a>
Production Date	Date	Calendar date of last point of processing or packaging.	eventTime of TransformationEvent	<a href="#">EPCIS Transformation Event</a>
Product Country of Origin	Code	Country where seafood underwent the last substantial transformation.	countryOfOrigin (repeating)	<a href="#">CBV Info</a>



表 Aq2f - 認証およびライセンス(イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Harvest Certification	Mixed	Name of harvest standards body which a particular harvest seafood is subject to and the unique identifier associated with the certified entity.	cbvmda:certificationList <sup>15</sup> certification certificationStandard	<a href="#">CBV Seafood Attributes</a>
Harvest Certification Chain of Custody	Mixed	Name of chain of custody standards body which particular harvest seafood is subject to and the unique identifier associated with the certified entity.	certificationAgency certificationValue certificationIdentification	
License	Mixed	Unique indicator generated by the authorities in the country of operation that gives the aggregator or processor the license to operate.	gdst:certificationType  /certification	
Human Welfare Policy Standards	Text	Name of internationally recognized standards to which policy on a vessel/trip claims conformity	/cbvmda:certificationList  Or <a href="#">bizTransactionList</a>	

表 Aq2f 次ページに続く →

<sup>15</sup> 様々な認証識別スキームに対応するため、上記の属性を組み合わせて、最低、発行団体および関連認証識別子を指定する。「Agency and Identification」のみあるかもしれないし、加えて、認証団体または監査主体(certificateAgency)もあるかもしれない。



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Existence of Human Welfare Policy	Text	Indicator of human welfare policies in place on a vessel/trip, answering the question "What kind of human welfare, labor, or anti-slavery policy was in place on this vessel/trip?" If internal policy subject to 3rd party audit, select '3P Audit'.	humanWelfarePolicy	GDST Extension

表 Aq2g - トレーサブルオブジェクト情報 (イベントレベル)

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Species	Code	Scientific (latin) name of the seafood.	speciesForFisheryStatisticsPurposesCode	<a href="#">FAO Species Code</a>
Item / SKU / UPC / GTIN	ID	Identifier of seafood material to distinguish it within a particular facility, company, or globally.	Catch, Ship, Receive, Landing (Object): epcList quantityList EPCClass, Qty, UOM	<a href="#">EPCIS What Dimension</a>
Linking KDE (batch, lot or serial number)	Lot or Serial #	Identifier associated with physical product marking a particular instance of seafood material such as a batch/lot number, serial number, or container number.	Process (Transform): inputEpcList, inputQuantityList outputEpcList outputQuantityList  Pack/Unpack (Aggregation): parentID	
Weight or Quantity <sup>16</sup>	Number	Numerically quantifiable amount of seafood with a standard	epcList or quantityList	

<sup>16</sup> 定義を参照。個々の水産物単位 (たとえば、魚の数) ではなく、標準測定単位の量。



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
		Unit of Measure.	ID Options:	
Unit of Measure	Code	Standard for measurement of the product	GS1 LGTIN GS1 SGTIN GS1 SSCC URL UUIDEPC or EPC Class geofencePolygon <a href="#">GS1 Example</a>	

 表 Aq2h - 技術データ(イベントレベル)<sup>17</sup>

Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Event ID	UUID	An identifier for this event as specified by the capturing application, globally unique across all events. The Core Business Vocabulary standard [CBV1.2] specifies the use of a UUID URI for this purpose.	eventID	<a href="#">UUID for Event IDs</a>
Event Date, Time & Time Zone	Date Time Zone	The date and time at which the EPCIS Capturing Applications asserts the event occurred. The time zone offset in effect at the time and place the event occurred, expressed as an offset from UTC.	eventTime eventTimeZoneOffset	<a href="#">ISO-8601 Timestamp</a>

表 Aq2h 次ページに続く →

<sup>17</sup> 表 Aq2h には、EPCIS イベントの記録に必要な EPCIS データファイルの構成要素である追加データ種が含まれる。これらは GDST 基本汎用リストにより義務づけられる KDEs に加えて GDST により求められるが、サプライチェーン全体でのデータ共有目的では BUL の一部とは見なされない。



Name	Type	Definition	GS1 CBV Attribute	Link for More Info
Event Read Point (Geo Location)	Location	The geographic or business location at which the event took place.	readPoint “geo: {lat}, {lon}” or GLN	<a href="#">Location CBV Info</a>
Product Ownership	Party	The party who owns the object.  For chain of custody during ownership transfer, capture source and destination owning parties.	productOwner  Ship/Receive Events: sourceList, destinationList owning_party  IDs: pglN, urn or url	GDST Extension  <a href="#">Source</a> , <a href="#">Destination</a> <a href="#">Documentation</a>
Information Provider	Party	The original party who provided the event information. This is important as the event may be re-shared downstream.	informationProvider	<a href="#">Data Dictionary</a>

### 2.3. 重要追跡イベントおよび GS1「ビジネスステップ」

EPCIS フォーマットで重要追跡イベントを表すうえでの 1 つのステップが、GS1 コア・ビジネス・ボキャブラリ (CBV) により定義されるいわゆる「ビジネスステップ」としての CTEs のコード化である。初期加工の下流にある CTEs に関しては、これらはすでに既存の GS1 CBV により定義されている。しかし、水産物サプライチェーンにおける上流イベント—特に船・養殖場イベント—に関しては、GDST 拡張を EPCIS 規格に提供する必要がある。これは、GDST などの業界イニシアチブを通じてビジネスステップ・ボキャブラリを拡張する GS1 EPCIS の実務と完全に首尾一貫している。表 C1 に、既存 GS1 CBV 定義を採用して、また必要に応じて CBV を新しい GDST 定義により拡張して、GDST CTEs のビジネスステップを示す。

以下の表では水産物に特異的な CTEs を定義し、それらを EPCIS に記録する方法を示す。ビジネスステップはセクション 2 のマトリックスの CTE 欄にカテゴリー化して示す。

表 C1: GDST CTEs および付随するビジネスステップ

Critical Tracking Event	Description	EPCIS Event Group	EPCIS Action	EPCIS Business Step	EPCIS Disposition	Reference Type
<b>Harvest Events (Catch, Farm)</b>						
Catch	Event where wild-caught product for consumption is first commissioned.	Object	Add	urn:epcglobal:cbv:bizstep:catch	active	N Outputs
Farm Harvest	Event where aquaculture product for consumption is first commissioned.	Object OR Transformation	Add	urn:epcglobal:cbv:bizstep:farmHarvest	active	N Outputs
<b>Transformation Events (Feedmill, Hatching, Processing, On-Vessel Processing)</b>						
Commingling	Transformation wherein multiple batch/lots are combined into single batch/lot without substantial product form change.	Transformation	Add	urn:gdst:bizstep:commingling	active	N Input and 1 Output
Farm Stock	Addition of immature aquaculture brood for maturation.	Object	Add	urn:gdst:bizstep:farmStocking	active	N Outputs
Hatching	Life cycle event in aquaculture.	Transformation	Add	urn:gdst:bizstep:hatching	active	N Inputs and M outputs
Transformation	Processing step where product change occurs. Includes processing, on-vessel processing.	Transformation	Add	urn:epcglobal:cbv:bizstep:commissioning	active	N Inputs and M Outputs
Packaging	Products are packaged.	Transformation	Add	urn:gdst:bizsetp:packaging	active	N Inputs and 1 Output

表 C1 次ページに続く →

Critical	Description	EPCIS Event	EPCIS	EPCIS Business Step	EPCIS	Reference
<b>Aggregation/Disaggregation</b>						
Aggregate	Incorporating child IDs into a parent ID	Aggregation	Add	urn:epcglobal:cbv:bizstep:packing	active	N Input and 1 Output
Disaggregate	Disincorporation of child IDs from parent ID.	Aggregation	Delete	urn:epcglobal:cbv:bizstep:unpacking	inactive	1 Input N Outputs
<b>Transportation Events (Transshipment, Landing, Ship/Receive)</b>						
Landing	A product harvested from the wild is transferred for the first time from a VESSEL to LAND.	Object	Observe	urn:gdst:bizstep:landing	in_progress	N Observe
Receive	Denotes a specific activity within a business process that indicates that an object is being received at a location and is added to the receiver's inventory. The use of receiving is mutually exclusive from the use of arriving and accepting.	Object	Observe	urn:epcglobal:cbv:bizstep:receiving	in_transit	N Observe
Ship	CTE where object is moved to another location especially in change of ownership.	Object	Observe	urn:epcglobal:cbv:bizstep:transporting	in_progress	N Observe
Transshipment	This indicates that products were moved from a VESSEL to another VESSEL prior to the Offload/Landing event.	Object	Observe	urn:gdst:bizstep:transshipment	in_progress	N Observe

### 3. オブジェクトおよび位置の識別要件

オブジェクト、エンティティ、位置の識別子は EPCIS イベントベース・トレーサビリティの必須構成要素である。トレーサブルオブジェクトとは、サプライチェーン経路を決定することが可能であり、かつ決定する必要がある物理的オブジェクトまたはデジタルオブジェクトである。以下に示すオブジェクト、エンティティ、位置の識別子は GS1 規格および非 GS1 手法の組み合わせである。

GDST 1.0 は特定のオブジェクト、エンティティ、位置について識別子の使用を義務づけているほか、これらの識別子を以下のタイプにすることを義務づけている。汎用一意識別子 (UUID)、URLs、GS1 識別子 (GLNs、GTINs、LGTINs 等)。以下の表に推奨される光学的読み取り式識別方法を示すが、GDST 1.0 は UUID、URL、GS1 識別子でオブジェクトを表現出来る場合に限り RFID や IoT デバイスの使用も許している。識別子は EPCIS 規格に対応するために URI 構造を使用している。GS1 企業識別コードに代わって、URL または UUID が識別コードの役割を果たす。URI の {prefix}、{serial}、{lot} フィールドは情報提供者によって内部的に決定される。たとえば、水産会社はソリューションプロバイダの URL を識別子の基礎に使用することもでき、この場合、識別コードが当該水産会社、そしてある製品の内部 {serial}・{lot} 番号を表す。識別子の基礎に検証可能 URL を利用出来ない水産会社は、代わりに、UUID、自ら決定した識別コード、シリアル、ロットを使用できる。これにより、紐付けされたデータを利用する能力を有する類似 EPCIS 対応構造を保持しつつ、グローバルに一意的な方法で内部識別子を使用する柔軟性が確保される。


注: ポイントオブセールス識別子はこれらの規格から除外される。それらは GS1 および取引先のその他の水産物トレーサビリティ・ガイダンス資料において詳述され、サプライチェーンのトレーサビリティおよび相互運用性には直接関連しない。

#### 3.1. 船や養殖場において




以下に、天然漁獲および養殖された魚の識別子例、船および養殖場の位置識別子の例を示す。

Role	Object, Entity, Location	Usage and Example
Fisherman or Farmer	Fresh Caught or Harvest Seafood  <a href="#">URL</a> <a href="#">UUID</a>	Identify catch or harvest with either a globally unique GS1 GTIN and Lot (LGTIN) based on either a <a href="#">GS1 Company Prefix</a> or a purchased individual GS1 GTIN. If a GS1 Prefix is not available, one may substitute a web URL, or UUID since they are also globally unique. A GS1 GTIN and Lot, along with catch or harvest date are incorporated into a <a href="#">GS1-128 Barcode</a> . A URL or UUID are incorporated into a <a href="#">QR Code</a> . The barcode is applied to a container or is displayed on a mobile device to enable data transfer.  Example IDs:



	<p><a href="#">GS1</a> <a href="#">GTIN</a>+Lot</p>	<p><u>URI structure for non-GS1</u></p> <p>urn:gdst:{URL or UUID}:product:lot:class:{Prefix}.{Serial}.{lot}</p> <p><u>UUID example</u></p> <p>urn:gdst:a2222482-7f96-4d6d-9431-c4e6e3ef4888:product:lot:class:123.456.789</p> <p><u>URL example</u></p> <p>urn:gdst:example.com:product:lot:class:123.456.789</p> <p><u>GS1 example</u></p> <p>urn:epc:class:lg tin:0614141.112345.123456</p> <p>Online Barcode Generator used for examples below: <a href="https://barcode.tec-it.com/en">https://barcode.tec-it.com/en</a></p>
 <p>urn:gdst:example.com:product:lot:class:123.456.789</p>	 <p>urn:gdst:a2222482-7f96-4d6d-9431-c4e6e3ef4888:product:lot:class:123.456.789</p>	 <p>(01)10614141123459(11)170709(10)123456</p> <p><a href="#">GS1-128 Barcode</a></p> <p>(01) <a href="#">Product GTIN</a></p> <p>(11) <a href="#">Catch/Harvest Date</a></p> <p>(10) <a href="#">Batch or Lot</a></p> <p>urn:epc:class:lg tin:0614141.112345.123456</p>
<p>Fisherman or Farmer</p>	<p>Party URL UUID <a href="#">GS1 PGLN</a></p>	<p>Identify farm or vessel legal <u>owner</u> – also known as a “party”. This can either be purchased from a local GS1 member organization or assigned by a licensed agency such as GLOBALG.A.P. In the case where this is not available, one can apply the same method as for traceable objects above and generate a URL or UUID.</p> <p><u>URI for non-GS1</u></p> <p>urn:gdst:{URL OR UUID}:party:{Prefix}.{Serial}</p> <p><u>UUID example</u></p> <p>urn:gdst: 7af5bcbe-df79-412d-8603-e536b219bb28:party:0001.1234</p> <p><u>URL example</u></p>



		<p>urn:gdst:example.com:party:003.000</p> <p><u>GS1 example</u></p> <p>urn:epc:id:pgl:0614141.00440.0</p>
 <p>urn:gdst:example.com:party:003.000</p>	 <p>urn:gdst: 7af5bcbe-df79-412d-8603-e536b219bb28:party:0001.1234</p>	 <p>(417) 0614141003006</p> <p><a href="#">GS1-128 Barcode</a></p> <p>(417) Party GLN</p> <p>urn:epc:id:pgl:0614141.00440.0</p>
<p>Fisherman or Farmer</p>	<p>Location URL UUID <a href="#">GS1 SGLN</a></p>	<p>Identify vessels, farms and other related <u>facilities</u> or <u>locations</u>. Note that the Party GLN is 0614141.00300.0 and the subordinate vessels and farms are built from the Party GLN using the <a href="#">GLN extension</a>. The ramification of this design is that the farmer or fisherman need only purchase one Party GLN if they do not have a GS1 Company Prefix.</p> <p><u>URI for non-GS1</u></p> <p>urn:gdst:{URL OR UUID}:party:{Prefix}.{Serial}</p> <p><u>UUID example</u></p> <p>urn:gdst: 4e81c664-77b1-412f-ba59-b92aaf5244eb:party:0001.1234</p> <p><u>URL example</u></p> <p>urn:gdst:example.com:party:003.123456</p> <p><u>GS1 example</u></p> <p>urn:epc:id:sgln:0614141.00300.123456</p>

 <p>urn:gdst:example.com:party:03.123456</p>	 <p>urn:gdst: 4e81c664-77b1-412f-ba59-b92aaf5244eb:party:0001.1234</p>	 <p>(414)0614141003006(254)123456</p> <p><a href="#">GS1-128 Barcode</a></p> <p>(414) <a href="#">Physical Location GLN</a></p> <p>(254) <a href="#">GLN Extension</a></p> <p>urn:epc:id:sgln:0614141.00300.123456</p>
---	---	--


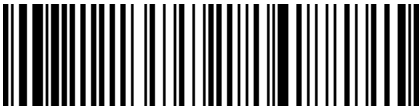
### 3.2. 加工業者または消費者向け包装品(CPG)製造業者

The following are example identifiers for both intermediate and finished goods processors who ship product to trading partners. We strongly recommend using GS1 Identifiers at this stage as they may be received and handled by organizations with systems based on GS1 Standards. In the event this is not feasible, one may use the URL or URN identifiers shown above. However, this will require communication between trading partners to assure compatibility.



Role	Object, Entity, Location	Usage and Example
Processor & CPG	<a href="#">Processed Seafood Case Label</a>	<p>Identify processed seafood with a globally unique GS1 GTIN and Lot (LGTIN) based on a <a href="#">GS1 Company Prefix</a>. The LGTIN, along with either <a href="#">Packaging Date (preferred)</a>, <a href="#">Best Before Date</a>, <a href="#">Sell by Date</a>, <a href="#">Expiration Date</a> should be incorporated into a <a href="#">GS1-128 Barcode</a>. The barcode label is applied to a container intended for general distribution and logistics (case, carton, plastic bin, etc). Example ID:</p> <p>urn:epc:class:lgtn:0614141.112345.123456</p> <p>Online Barcode Generator used for examples below: <a href="https://barcode.tec-it.com/en">https://barcode.tec-it.com/en</a></p>
<p>Human Readable Text on General Distribution Case Label</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Brand Owner/Company Name</li> <li>• Product description</li> <li>• Lot number</li> <li>• Global Trade Item Number (GTIN)</li> <li>• Catch date, Best before date</li> <li>• Sell-by date, Use or freezeby date or</li> <li>• Production date</li> </ul>		





<ul style="list-style-type: none"> <li>Net Weight and Serial Number for Variable Weight Cases</li> </ul>		
<p>Barcode Encoded Information on General Distribution Case Label</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Global Trade Item Number (GTIN)</li> <li>Lot Number</li> <li>Date: Catch, Best before, Sell-by, Use-by or Production</li> <li>Net Weight and Serial Number for Variable Weight Cases</li> </ul>  <p>(01)10614141123459(17)190709(10)123456</p>		
Processor & CPG	<a href="#">Logistics Unit (SSCC)</a>	<p>Identify a pallet containing processed seafood cases with a globally unique Serial Shipping Container Code based on a <a href="#">GS1 Company Prefix</a>. The SSCC should be incorporated into a <a href="#">GS1-128 Barcode</a>. The barcode label is applied to a pallet intended for general distribution and logistics. Example ID:</p> <p>urn:epc:id:sscc:0614141.0000392090</p> <p>Online Barcode Generator used for examples below: <a href="https://barcode.tec-it.com/en">https://barcode.tec-it.com/en</a></p>
<p>Optional Human Readable Text on Pallet Label</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Global Trade Item Number (GTIN)</li> <li>Count</li> <li>Batch/Lot</li> <li>Catch, Best before, Sell-by, Use-by or <u>Production date (preferred)</u></li> </ul>		
<p>Required Barcode Encoded and Human Readable Information on Pallet Label</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Serial Shipping Container Code (SSCC)</li> </ul>  <p>(00)006141410003920904</p>		
Processor & CPG	<a href="#">Party</a>  <a href="#">GS1 Party GLN</a>	<p>Identify Processor legal <u>owner</u> – also known as a “party”. This can be purchased from a local <a href="#">GS1 member organization</a>. It is strongly encouraged that a GLN is used rather than a URL or UUID because a PGLN can be used to convey ownership in a globally unique way across the supply chain. This is particularly helpful for chain of custody and other IUU data quality assurance needs. Understandably, it may be the case that the vessel owner or operator may not have a GS1 identifier, so the processor may be the first link in the supply chain to collect and share traceability events.</p>



		urn:epc:id:p1n:0614141.00300.0
 (417) 0614141003006 <a href="#">GS1-128 Barcode</a> (417) Party GLN urn:epc:id:p1n:0614141.00440.0		
Processor & CPG	Location <a href="#">GS1 Physical Location GLN</a>	Identify manufacturing <u>facilities</u> or other <u>locations</u> . Note that the Party GLN is 0614141.00300.0. The first physical location is indicated by incrementing to the next GLN, 0614141.00301.0 In the vessel or farm example, we used the GLN extension due to cost considerations. In the case of an operator with a GS1 Company Prefix (GCP), this method is not needed because there is no incremental cost for generating GLNs. A company may assign many GLNs based on a single GCP. This simplifies location identification and data sharing with trading partners. urn:epc:id:sgln:0614141.00301.0
 (414) 0614141003013 <a href="#">GS1-128 Barcode</a> (414) <a href="#">Physical Location GLN</a> urn:epc:id:sgln:0614141.00301.0		

## 付録

The following Appendices present the full Basic Universal List of Key Data Elements for wild-caught and aquaculture products, which are an integral part of this document and of the core GDST normative standards.

These tables are also available in easier-to-read format as Excel spreadsheets at <https://traceability-dialogue.org/core-documents/gdst-1-0-materials/>.



－ 付録1 －

天然漁獲製品に関する KDEs の全基本汎用リスト

















－ 付録 2 －

養殖製品に関する KDEs の全基本汎用リスト





